

第14回北東3地域本部技術士交流研修会 in 富山 テーマ「地元根付く産業・技術」

山下 齊之

1. はじめに

日本全土に大きな被害をもたらした台風12号が、前日までは富山県を直撃するとの気象予報の中、開催が危ぶまれた第14回北東3地域本部技術士交流研修会が富山市で開催されました。幸い台風は北上を続け富山市をそれたため、大きな影響もなく全ての日程を終えることができました。今回は北陸本部が担当し、日本技術士会の末利副会長をお招きし、2011年9月3日富山市の「ボルフアートとやま」において盛況な研修会となりました。

研修会には北陸、東北、北海道の各本部から多くの方々が参加し、北海道からは発表者である細川技術士、山下技術士(筆者)、本間氏の3名の他、斉藤本部長、能登副本部長、事務局(森事務局長、長井事務局次長)、加藤幹事の合計8名が参加しました。以下に研修会等の内容について報告します。

2. 研修会の概要

(1) テーマ

今回は「地元根付く産業・技術」をテーマに開催されました。

(2) 挨拶

最初に研修会を主催する北陸本部を代表して大谷本部長が演台に立ち、歓迎の挨拶をされました。

- ・今年度より新本部長に就任しました。
- ・台風の影響が心配されたが、日頃の皆様の行いが良いせいか、富山では雨も降らず無事開催できました。
- ・「パノラマキトキト富山に来られ」のキャッチフレーズの通り、富山の立山連峰の景色(パノラマ)と美味しい海産物(キトキト)を堪能して下さい。

- ・今回は富山県技術士会の協力で、研修会から「おわら風の盆」見学まで準備していただきました。



写真-1 開会挨拶をされる大谷北陸本部長

来賓挨拶は、台風12号による交通機関の乱れにより末利副会長の到着が遅れたため、基調講演の後に挨拶を頂きました。

- ・技術士会のメリットについてよく聞かれることがある。弁護士は弁護士会に属していないと仕事ができないが、技術士は技術士会に入っていないでも仕事ができる。弁護士会など他の会は一つの専門分野の専門家集団が主となっているものが多い。それに対して、技術士会は色々な分野の専門家が集まった総合的な専門家集団である。これは他には見られない特徴であり、大変大きなメリットである。



写真-2 来賓挨拶される末利副会長

(3) 各地域本部近況報告

挨拶の後、各本部から近況報告がありました。

東北本部から「通常なら次回は北海道本部主催となる順番ですが、1年後というタイミングを考えて東日本大震災に関連して東北本部主催で開催できないか検討しており、今後相談させて頂きたい」という意見がありました。

- ・東北本部：橋本正志事務局長
- ・北海道本部：森隆広事務局長
- ・北陸本部：佐藤直衛事務局長



写真-3 森事務局長



写真-4 橋本事務局長(左)と佐藤事務局長(右)

(4) 基調講演

「薬都『富山』の基盤一新展開を目指して」と題して、富山大学和漢医薬学総合研究所の小松かつ子教授より基調講演がありました。

① 富山のくすりの歴史

17世紀末、富山藩主前田正甫は薬への関心が高く、和漢薬の生産と販売促進を行った。薬種商の意を受けた行商人の八重崎屋源六が関西方面に売薬の旅に出たのが「富山のくすり」のはじまりです。

各家庭にあらかじめ薬を置いておき、年に一度か二度、家庭訪問して使用された薬の代金のみを受け取り、使用分を補充する販売方法(先用後利)により、売薬は富山藩の一大事業になる。この家庭配置薬の仕組みは現在まで活かされている画期的なシステムですと説明がありました。

② 富山県薬業の現状

H15(2003)年、富山県の医薬品生産金額は2,462億円(全国8位)であったが、H21(2009)年には5,736億円(全国2位)と増加している。この要因は培ってきた高い技術力の保有、生産拠点としての高い評価、幅広い剤形(特にハップ剤・軟膏剤等)によるものとの説明がありました。

③ 富山のくすりの新展開

富山県ブランド生薬の開発が研究中の課題です。中高年者疾患に有効な生薬及び和漢薬方剤を開発研究しています。中高年に多い七大生活習慣病(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧、腎疾患、肝疾患)や高脂血症、認知症、ダイエットに効果のある和漢薬を富山県で栽培可能な薬用植物から創り出し、富山県の薬業を活性化させたいと説明がありました。



写真-5 基調講演される小松教授

(5) 研修発表

各本部から2編ずつ、合計6編の発表がありました。東北本部からは、東日本大震災の宅地被害と沿岸道路の津波被害について、北陸本部からは、富山で育ったYKKについてと災害復旧に使用されたジオテキスタイルの紹介がありました。北海道本部からは冬の雪を夏に利用する雪氷エネルギー利活用技術とエゾシカの畜産産業について発表があり、本研修会のテーマである「地元へ根付く産業・技術」にマッチした興味ある内容であったと皆さんに高評価をいただきました。

以下に発表の概要を記します。

- ①【東北本部】「平成23年度東日本大震災の概要について―宅地地盤災害の実態―」(株)復建技術コンサルタント 三上 登志男(建設)

東日本大震災による被害の内、地震動による仙台市と周辺部の宅地被害について、事例を踏まえて発表されました。地すべりや亀裂の多くが谷埋め盛土部で発生しており、約3分間の長期振動や地下水の存在が被害を大きくした要因であることを説明されました。



写真-6 三上技術士(東北本部)

- ②【東北本部】「東日本大震災による沿岸道路の津波被害」日本工営(株) 古村 利定(建設/総監)

東日本大震災による市町村、河口、沿岸道路、鉄道、港湾、防潮堤などの津波被害について多くの写真を使って発表されました。特に津波前後の空撮写真を見て、改めて被害の甚大さを認識しました。



写真-7 古村技術士(東北本部)

- ③【北海道本部】「雪国の未来を拓く雪氷エネルギー」伊藤組土建(株) 山下 齊之(建設)、本間弘達(博士)
前段で、筆者より北海道本部のリージョナルステート研究会と循環技術システム研究分科会の活動内容及び本間氏の紹介後に本間氏が発表を行いました。

雪冷房のシステム、雪の保存方法や北海道での雪活用事例の紹介、雪冷房をデータセンターに導入するホワイトデータセンター構想と、その経済・環境・雇用の効果などを熱く語りました。



写真-8 山下技術士(左)と本間博士(右)

- ④【北陸本部】「風土、事業環境と人・企業 ～地元へ根付く産業・技術～」YKK(株) 山本 尚三(金属/総監)

富山は住みやすさ日本一の県と言われており、YKKは生産拠点が富山県にある富山で育った企業です。ファスナー業界は装置や原材料を自分たちで手掛けざるを得なかったため、川上遡上主義が定着し、これが現在の海外展開などに役立っていると発表されました。



写真－9 山本技術士(北陸本部)



写真－11 横田技術士(北陸本部)

- ⑤【北海道本部】「エゾシカ飼うべ ～北海道における畜産産業の現状と課題～」和光技研(株) 細川康司(建設／総監)

害獣として扱われているエゾシカを北海道の地域資源と位置付け、地域産業研究会で、家畜化を目指して活動してきた調査・検討の内容と課題について発表されました。駆除から養鹿への発想転換、エゾシカ肉の評価、エゾシカ肉製品、養鹿産業を地元根付かせ地域活性化を図るなど、大変興味深く拝聴しました。



写真－10 細川技術士(北海道本部)

- ⑥【北陸本部】「東日本大震災等の北東 3 地域にて発生した自然災害の復旧、復興で使用された繊維技術(ジオテキスタイル)の紹介」前田工織(株) 横田善弘(建設)

北東 3 地域では、豪雨・地震・津波等の大規模自然災害に数多く遭遇しています。これらの災害復旧・復興などで使用されたさまざまな繊維技術(ジオテキスタイル)のうち、代表的な使用例や要求性能について紹介されました。

- (6) 閉会挨拶

最後に富山県技術士会 森田清三代表幹事より閉会の挨拶をいただき、閉会となりました。

3. 見学会

- (1) 「おわら風の盆」見学

研修会及び交流会終了後、バスで 40 分ほどの「おわら風の盆」の会場であり、江戸時代の商人町のたたずまいを色濃く残している八尾町まで移動しました。

「おわら風の盆」は三百年の歴史を持つ富山を代表するお祭りです。二百十日の日に豊穡を祈って三日間、朝昼夜の別なく三味線・太鼓などの鳴り物と唄で踊りながら町内を練り廻ります。非常な混雑のなか、たまたま最前列で「男踊り」の力強さと女性のしなやかさを表現した「女踊り」を見ることができました。



写真－12 おわら風の盆の町流し

(2) 広貫堂見学

翌日の現地見学会では、最初にくすりの広貫堂資料館に行きました。広貫堂では「富山のくすり」の歴史、特に配置薬と万病薬「反魂丹」について、和漢薬の種類・効能や薬の外袋の絵柄にこめられた意味などを面白く説明してもらい、展示品を見学しました。



写真-13 広貫堂の面白い説明員

(3) 立山カルデラ砂防博物館見学

次に、火山活動と浸食作用で形成された独特の自然を持ち、日本有数の大規模崩壊地である立山カルデラの砂防博物館を見学しました。「安政の大災害」以来、立山カルデラの常願寺川流域では、土砂を制するため100年以上もの間砂防工事が続けられています。



写真-14 立山カルデラ大型地形ジオラマ

(4) 源の寿司ミュージアム見学

最後に「ますのすしミュージアム」で富山名物ます寿司の昼食後、富山空港から帰路につきました。

4. おわりに

今回、私は北東3地域本部の研修会に初めて参加しました。各地域の現状を垣間見ることができ、また東北・北陸本部の技術士の方々との交流を持てたことは大変有意義であったと思います。

最後に本研修会と見学会の準備・運営をしていただきました大谷北陸本部長と北陸本部の皆様、森田代表幹事と富山県技術士会の皆様、北海道本部事務局の皆様に感謝を申し上げます。

山下 斉之 (やました ひろゆき)
技術士(建設部門)

伊藤組土建 株式会社

